

統合科目	微生物学・口腔微生物学
------	-------------

- 《履修上の留意事項》1．練習問題等をするので、1年次の復習をしておくこと。  
2．重要なポイントはメモしておき、講義終了後は復習しておくこと。

《担当者名》 歯学部講師 / 宮川 博史

【概要】

微生物学的知識の再確認を行う。

【全体目的】

歯科衛生士が行う口腔疾患に対する感染予防や保健指導などには微生物に関する知識が重要であることから、微生物・口腔微生物の基本的知識や取り扱い方、感染症を引き起こす代表的な病原微生物の性状や発生のメカニズムなどについて学ぶとともに、感染症などに対する感染予防や宿主の防御機構（免疫）について習得する。

【学修目標】

卒業試験及び国家試験の合格を目標とする。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	微生物学総論・各論の復習	微生物の形態学的特徴と生理学的性状について知識の再確認を行う。	宮川 博史
2	微生物学総論・各論の復習	滅菌と消毒について知識の再確認を行う。 化学療法の目的・原理・作用機序について知識の再確認を行う。 代表的な病原微生物について知識の再確認を行う。	宮川 博史
3	感染と発症についての復習 免疫についての復習	微生物の病原因子について知識の再確認を行う。 免疫の概要と免疫担当細胞の特徴について知識の再確認を行う。	宮川 博史
4	免疫についての復習	自然免疫と獲得免疫について知識の再確認を行う。 体液性免疫と細胞性免疫について知識の再確認を行う。 免疫に関与する細胞の種類とその機能について知識の再確認を行う。 抗体の構造、種類、特徴について知識の再確認を行う。	宮川 博史
5	アレルギーの復習 口腔微生物学総論の復習	アレルギーの種類と発現のメカニズムについて知識の再確認を行う。 口腔環境と口腔内常在微生物の特徴について知識の再確認を行う。	宮川 博史
6	口腔微生物学各論の復習	口腔感染症（特にう蝕と歯周疾患）とその病原微生物の特徴について知識の再確認を行う。	宮川 博史

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

卒業試験 100%

【教科書】

最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 「微生物学」 医歯薬出版

【参考書】

「口腔微生物学-感染と免疫-」学建書院

**【学修の準備】**

予習：項目に関して1年次の復習をしておく。(40分)

復習：講義内容について重要なポイントをまとめておく。(40分)